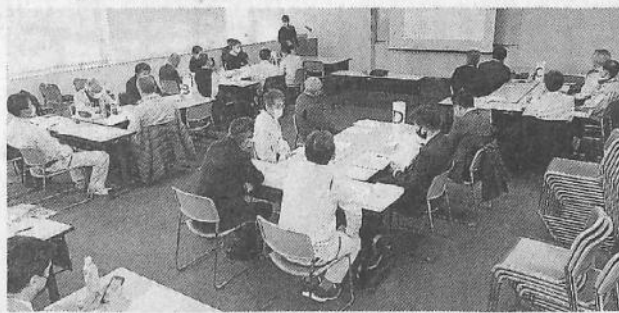


# 討論形式でスキルアップを

第 121 回

## 福井県コンクリート診断士会が研修会開く 第

福井県コンクリート  
診断士会（山川博樹会



山川 博樹会長

長）は24日、121回  
目の研修会を開催した  
。写真。福井市手寄の  
アオッサで。  
冒頭、山川会長が挨拶  
した。「今回は討論  
形式を採用。情熱年齢  
が、いつまでも若々し  
い、会員みなさんと一

緒に、全体の技術レベ  
ルを、さらにアップし  
たい」と、研修会の重  
要性を強調した。  
参加者たちは、実務  
年数に配慮し、6人ず  
つの4班に編成され  
た。司会・進行役は、  
濱岡弘二副会長と、嶋  
瀬敬祐幹事が務めた。  
各班ともチームワー  
クを発揮し、設問の答  
えをめぐり、活発に話  
し合った。テーマは、

劣化事例を見ての対策  
検討。模範解答はある  
ものの、会員それぞれ  
が経験値を示した。  
ひび割れの原因を推  
定する解答例として、  
材料と施工、構造・外  
力が適当で、使用環境  
は不適とした。パター  
ン分類では、発生時期  
を数時間から1日、数  
日が適当で、数十日以  
上は不適。形態は表層  
と貫通が適当で、網目



ひび割れの原因を推定

状は不適などと、ケー  
スに応じて示した。  
標準調査に基づく結  
果と判定には、セメン  
トが使用材料の場合、  
異常凝結が起きたり。  
骨材なら、反応性骨材  
（アルカリ骨材反応）  
だったり、総合的に考  
え合わせた。  
実務を通し、判断に



本音で意見交換

迷うこともある（ベテ  
ラン会員）と、本音で  
意見交換した。なお2  
013年日本コンクリ  
ート工学会の研究資料  
（コンクリートのひび  
割れ調査、補修、補強  
指針）を参考にした。  
研修は今後も討論形  
式を予定し、スキルの  
向上を図りたい考え。